

「筑協会員機関と筑波研究学園都市記者クラブの交流会」について（案）

1 概要・目的

筑波研究学園都市記者クラブ（以下「記者クラブ」という。）と筑協会員機関との交流について、記者クラブへのアンケート調査の結果、記者側に一定のニーズがあることが確認された。このため、両者の交流のきっかけをつくり、今後の筑波研究学園都市及び会員機関における効果的な情報発信の促進につなげることを目的として、記者クラブ所属の記者と筑協会員機関の広報担当者との交流会を試行的に実施する。

なお、交流会実施後のアンケート調査結果等を踏まえ、交流会継続の必要性を含め、今後のあり方を検討する。

2 対象者

記者クラブ所属の記者及び会員機関の広報担当者

3 実施時期及び頻度

本年 10 月～12 月頃を目途に実施する。

4 実施方法

- ・記者会総会の終了後に 1 時間程度、歓談（茶話会）を行う。
- ・会員機関の参加者から会費として、500 円程度を徴収する。記者は無料とする。
- ・会費から、飲み物（500ml ペットボトルのお茶など）と茶菓子を用意する。
- ・参加者にアンケートを取り、今後の実施内容等についての検討資料とする。

5 実施に当たっての検討事項

- ・時期や時間などは適切か。
- ・会費の額は妥当か。
- ・茶話会のみとするか、これに加えて会員機関から簡単なプレゼンを行うか。